



おじゃまします

さかき新企業人インタビュー①

鈴木実プロフィール

株式会社 ミズキコーポレーション

代表取締役 鈴木実氏

昭和44年生まれ。坂城高校卒。専門学校卒業後、浦安工業入社。協同設備を経て平成17年独立。翌18年(株)ミズキコーポレーション創立。趣味は磯釣り、猟銃など。

お客様満足度 地域ナンバーワンを目指して



設立4年目を迎えた水廻りリフォームと設備工事の(株)ミズキコーポレーション。地域密着一番店を目指し、堅実に業績を伸ばす鈴木実社長は30代の若き経営者。「まだまだ無我夢中の毎日です」と仕事に追われる毎日だが、商工会青年部副部長の要職にあつて青年部の事業運営や地域イベントのまとめ役としても活躍している。

——会社設立までの経過をお聞かせください。

「父が設備関係の会社(協同設備)を経営していました。幼い頃から父の仕事を見て育ちました。その影響ででしょうか、専門学校を卒業してから大手の管工事設備会社に就職し、そこで2年勤め、その後父の会社に入りました。将来は独立して、親父に負けない仕事になりたい!と想着ていましたので、14年間、父の会社でいろいろな仕事を経験し、4年前に独立して今の会社を立ち上げました。法人化して3年目を迎えます」

——お仕事の内容は?

「アパートや商業店舗、一般住宅などの下水切り替え工事や給排水・給湯設備工事、空調設備工事のほか、キッチン、浴室の水廻りリフォームなど多岐にわたります。建物の水廻りというのは暮らして密着した、いわば生命線のようなもの。社会基盤の整備という意味でもやりがいのある仕事だと思います。また大勢の職人が携わって一つの現場を完成させていく、そのプロセスも面白いですね」

——会社を設立されて4年目ということですが、どのような日々でしたか?

「無我夢中がむしゃらに仕事をしてきた、という感じです。時間に追われる毎日で、社員の皆さんにも苦労をかけたと思います。でも、昨年はおかげさまで県営水道や長野市、千曲市、上田市、須坂市、坂城町など5市町の指定登録ができ、ようやく会社の基礎が固まってきたかなという思いです。これを機に施工エリアも徐々に広げていきたいですね」

——一つ峠を越えたという

ことでしょうか

「無我夢中というのは現在も変わりませんが、仕事の質を見直したり、取引先の幅を広げたり、エンドユーザーへのPR(認知度アップ)など、これからの展開を少し落ち着いて考えられるようになったと思います」

——今後の抱負は?

「お客様満足度地域一番店が目標です。地域の皆さんに水廻りという生活に密着した分野で質の高いサービスを提供し、そのことで地域社会に貢献できるように頑張っていきたいと思います」

——ところで休日は何のよう

「5歳になる男の子がいます。休日はもっぱら家族サービスです。去年はじめて磯釣りをしたんですが、楽しかったですね。本当はハマりたいところですけどね。(笑)」

